研究課題名	**大動脈解離に対するＴＥＶＡＲ後の遠位遠位ステントグラフトの展開と術前真腔形態の関連に対する探索的後ろ向き研究**
試料・情報の利用目的・利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	大動脈解離の手術では、将来、血管がこぶのように膨らむのを防ぐために、胸の大きな血管に「ステントグラフト」という人工の筒を入れる治療があります。この治療を受けた患者さんが、その後どのように経過するのか、また血管の形がどのように変化するのかについては、まだ十分にわかっていないことがあります。 そこで今回、治療後の経過や血管の変化を調べ、今後の治療に役立てることを目的としています。
研究対象者	2015年4月から2026年8月31日までの大動脈解離症例に対して胸部ステントグラフト内挿術（TEVAR）を施行し、その後の画像データや臨床経過を観察する。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 ① 患者背景：生年月（年齢）、性別、手術の有無、併存疾患 ② 急性大動脈解離治療時の患者背景：手術記録、出血量、追加治療の有無、合併症 ③ 画像検査：胸部 X 線、CT、MRI、血管アンギオ ④ 有害事象： 有害事象は、CTCAE Version 5.0 に基づいて報告する。
研究予定期間	機関の長の実施許可日　～　2027 年 5 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者の範囲	この研究はベルランド総合病院 心臓血管外科のみで行います
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は機関の名称	ベルランド総合病院 院長　　片岡　亨
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院　　心臓血管外科 氏名：新田目　淳孝 メールアドレス：atsutaka_aratame@icloud.com 〒599-8247　堺市中区東山 500-3　　℡：072-234-2001（代）